



「皆様、明けましておめでとうございます。新たな年を迎え、皆様の益々のご健勝をお祈り申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い致します。」

*大晦日から元日へ(de la Saint Sylvestre au Jour de l'An)



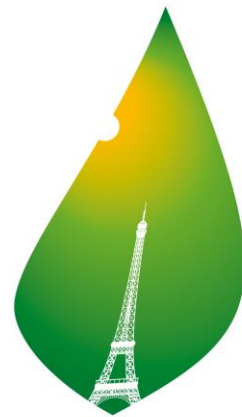
このところ部屋の奥まで強い陽光がサーッと射したり、一日中シトシトと小雨が降り続いたり、まるで雲の中に居るかのように濃い霧が漂ったり、テラスの植木鉢を倒す程の強い風が吹いたり、落ち着かない天気はいつもの通りの冬ですが、気温だけが違って例年よりも暖かく、零下になることはありません。そんな大晦日、夜を徹してのお祭り騒ぎも相変わらず、パリの舞台と云えるシャンゼリゼ大通りにはパリっ子ばかりか世界中の人々が集まって凱旋門に映るプロジェクションによる色々な人の笑顔や花火を見ながらカウント・ダウン“3... 2... 1... 2016、!”で三色旗となり、非常事態発令中(en état d'urgence)にも拘わらず何事も無く「健康に満ち、そして沢山の愛を」(Pleine Santé et beaucoup d'Amours)と口々に唱えて新たな年を賑やかに迎え、祝いました。バスやメトロは終夜運転、元日の昼まで運賃無料のサービスでした。

*元日(Le Jour de l'An)

初日こそ拝めませんでした。濃霧の漂う白い元旦を迎えました。TV とラジオ同時にウイーンから恒例の“ニューイヤーズ・コンサート”の実況放送、マリス・ヤンソン(Mariss Jansons)指揮のウイーン・フィルによるワルト・トイフェルやシュトラウス父子の名曲の数々、ウイーン少年合唱団のコーラスも入って、フィナーレは不可欠の”美しき碧きドナウ“そして”ラデツキー行進曲“で正月気分を盛り上げました。あとは大変静かな1日でした。

* 国連気候変動枠組み条約の第 21 回締約国会議(COP21) (Nations Unis – Conférence sur les Changements Climatiques 2015)

例年ですと 1 月末から 2 月に聞かれる南仏コート・ダジュールからのミモザの花便りが、クリスマスから新年に掛けて既に満開の報。「気候温暖化」(le réchauffement climatique)の所為かと驚きましたが、昨年 11 月 13 日のパリ同時多発テロ事件が起きたばかりの厳戒中のパリ郊外ルブールジェの特設会場で 11 月 30 日 COP21 会議が開幕、オランダ大統領は黙禱に続く開幕演説で「テロを地球温暖化と並ぶ挑戦」と位置づけました。この会議は 12 月 11 日迄行なわれ、世界 150 ヶ国の首脳が出席しましたので、会場は勿論パリや空港を結ぶ高速道路などが通行止めになるなどの厳重な警備体制が布かれたから、この時期に出張や帰国そして送迎などで空港との往復に苦労なされた方も多かったことでしょう。



COP21-CMP11
PARIS 2015
UN CLIMATE CHANGE CONFERENCE

* 今年の祝祭日(Les jours fériés en 2016)

新年早々に話題になったのが、今年の祝祭日です。フランスには 1 年に 11 日の祝祭日が定められています。今年は 1 月 1 日元旦(Jour de l' An)、3 月 28 日復活祭の月曜日(Lundi de Pâques)、5 月 1 日メーデー(Fête du Travail)、5 月 5 日昇天祭(Ascension)、5 月 8 日戦勝記念日(Victoire 1945)、5 月 16 日聖霊降臨祭の月曜日(Lundi de Pentecôte)、7 月 14 日革命記念日(Fête Nationale)、8 月 15 日聖母被昇天祭(Assomption)、11 月 1 日諸聖人の祝日(Toussaint)、11 月 11 日休戦記念日(Armistice 1918)、12 月 25 日クリスマス(Noël)です。ところが 5 月 1 日、5 月 8 日そして 12 月 25 日が日曜日と重なるので、日本の様に振り替え休日などと云う制度も無く、おまけに今年は“閏年”(l' année bissextile)、よく見れば 2017 年の元旦も日曜日、、、新年早々から「アア」と嘆く人も居る訳です。(Certains se plaignent qu' en 2016 les 3 jours fériés tombent un dimanche.) “パリっ子の嘆き”(la voix plaintive des Parisiens)は尽きません。

* エピファニー(l' Epiphanie)

1 月 6 日は“主の公現の祝日”或いは“王様の祭日”(la Fête des Rois)と呼ばれ、東方から星に導かれてやって来た 3 人の博士が神の子イエス・キリストの誕生を祝福したことを記念する日ですが、今ではそんな事よりも、これを祝う伝統的なパイ菓子“王様のガレット”(la galette des Rois)を切り分けて皆で食べる日となっています。この日が過ぎると、クリスマス・ツリーなど年末年始の飾り物を片付ける習いのようなのです。



* 冬のソルド(les SOLDES d' HIVER)



“冬物一掃大売出し”が1月6日から2月16日迄の期間全国一斉にデパートや商店で始まっています。今年も相変らずの経済危機(la crise économique)を反映してか、商品の現金化を図ろうとする店も多く、-30%、-50%、-70%もの値引きが見られ、主に衣料、靴やバッグ、アクセサリー類、電化製品に人気があります。インターネットで目玉商品を提案してネット販売をする店もありますが、やはり自分の目で商品を選び、自分の手に取って価値を確かめて買う楽しみ、そ

れに今冬は余り寒くないこともあって、出掛ける人も少くないようです。

*滞在許可証更新 (LE RENOUVELLEMENT DE TITRE DE SEJOUR) <経験> (3/3)

(前号から続く)、8月6日のことでした。何の気なしに携帯電話のメッセージを開けましたら、「ボンジュール、8月7日より旅券、古い滞在許可証、それに260ユーロの印紙を持って貴方の滞在許可証を引き取りに来るように、、、アントニー警察支署」(Bonjour, vous pourrez retirer votre titre de séjour à compter du 07/08/15 avec passeport, anciens titres et 260 euros en timbres fiscaux - Sous Préf. Antony)、、、目を疑いました。こんなに早く、、、でも260ユーロとは、ちょっと痛いな、でも10年間有効だから、ま、仕方ないか、、、普通は近所の煙草屋やカフェで売っている収入印紙も、額面が高いのでわざわざ税務署まで買いに行きました。ところがなんと額面20ユーロの印紙を13枚よこすじゃないですか、それなら近くの煙草屋でもよかったのに、と思いつつも、気は楽でした。8月10日、又早朝から並んで待ちました。そして08時45分に扉が開いて、セキュリティ・チェックを受けて、中に入り、受付で用件を云いましたら、引き取りは午後しかやっていない、との返事。近くにはカフェも無く、仕方なく一旦家に帰り、午後一番に出直して又行列に並びました。今度は大丈夫、番号札を取って許可証交付窓口の前で順番を待ちました。此外では身障者や妊産婦、赤ちゃん連れ、高齢者などが優先で、番号札があってもなかなか自分の番が廻って来ません。ジッと我慢しました。そして午後もかなり遅くなって、やっと順番が来ました。新しい10年有効の滞在許可証を手にして、受領の署名をして、、、これまでの苦勞を忘れ、ストレスは解消しました。こんな時、いつも自分が“外人”なのだ、との意識を新たにします。今年日本は旅券が切れます。今度は在フランス日本国大使館領事部へ出向いて、旅券の更新手続きをしなければ、、、。(完)



*2016年1月11日 Saint Paulin 日の出08時41・日の入17時15、
パリ：気温＝朝夕6℃・日中9℃ 雨天(風速70 km/h)、ニース：10℃/17℃
晴天、ストラスブール：5℃/8℃ 雨天
「書初めや 嫌な野郎の見事な字」(小沢昭一)
「平穩無事」を祈ります。菅 佳夫